

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)麗澤大学新学部設置に伴うキャンパス再整備計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		竣工段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										4.0
Q1 室内環境							0.40		-	3.8
1 音環境						3.2	0.15		-	3.2
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40		-	
1.2 遮音						3.6	0.40		-	
1 開口部遮音性能		開口部遮音性能T-2				5.0	0.30		-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.30		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	0.20		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	0.20		-	
1.3 吸音						3.0	0.20		-	
2 温熱環境						3.2	0.35		-	3.2
2.1 室温制御						3.8	0.50		-	
1 室温						3.0	0.60		-	
2 外皮性能		加重平均レベル5.00				5.0	0.40		-	
3 ゾーン別制御性						3.0	-		-	
2.2 湿度制御						2.0	0.20		-	
2.3 空調方式						3.0	0.30		-	
3 光・視環境						4.4	0.25		-	4.4
3.1 屋光利用						4.6	0.30		-	
1 屋光率		屋光率3.2%				5.0	0.60		-	
2 方位別開口							-		-	
3 屋光利用設備		屋光利用設備(ハイサイドライト)を採用				4.0	0.40		-	
3.2 グレア対策						4.0	0.30		-	
1 屋光制御		各室にブラインドを設置。2・3・4階にはバルコニーによる庇を設置				4.0	1.00		-	
3.3 照度		照度500lx以上750lx未満				4.0	0.15		-	
3.4 照明制御		屋光センサーによる自動照明制御				5.0	0.25		-	
4 空気環境						4.5	0.25		-	4.5
4.1 発生源対策						5.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		全面的にF☆☆☆☆を採用				5.0	1.00		-	
4.2 換気						3.3	0.30		-	
1 換気量		中央管理方式で居室で30m ³ /h人以上を確保				4.0	0.33		-	
2 自然換気性能		居室面積:140.84m ² 、開口面積:9.42m ² 、居室面積の1/15以上確保				5.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.33		-	
4.3 運用管理						5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		CO ₂ 濃度センサーの導入				5.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙				5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能						-	0.30		-	3.9
1 機能性						4.0	0.40		-	4.0
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性							-		-	
2 高度情報通信設備対応							-		-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						5.0	0.30		-	
1 広さ感・景観		教室(講義室)の天井高3.75m(教室部分の天井高さは直天)				5.0	0.50		-	
2 リフレッシュスペース							-		-	
3 内装計画		コンセプトを重視した設計、パースの作成を行っている。				5.0	0.50		-	
1.3 維持管理						4.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		維持管理に配慮した設計が充実している。				5.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		維持管理用機能の確保において標準以上の取組を実施				4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						3.6	0.30		-	3.6
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.8	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		保有水平体力の1.25倍を確保				4.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出ダクト等90%以上の範囲にガルバリウムダクトを採用				5.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種類以上にC以上を使用				4.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						3.5	0.20		-	
1 空調・換気設備						-	-		-	
2 給排水・衛生設備		評価する取り組みを4つ実施。				5.0	0.25		-	
3 電気設備						3.0	0.25		-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.25		-	
5 通信・情報設備						3.0	0.25		-	

3 対応性・更新性			4.1	0.30	-	-	4.1
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1 階高のゆとり		階高の平均値3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率0.16	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		教室、研究室で2900N/m ² 以上	4.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			4.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		主要室は天井レスにて計画、点検扉を適切な設置	4.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		主要室は天井レスにて計画、点検扉を適切な設置	4.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		主要室は天井レスにて計画、点検扉を適切な設置	5.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		主要室は天井レスにて計画、点検扉を適切な設置	5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		屋上にバックアップスペースの確保を計画している。	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.5
1 生物環境の保全と創出		緑地を多く有している。計画地に適した外構計画を行っている。	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		キャンパス既存建物との調和を考慮した計画を行っている。	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮		下記参照	4.5	0.30	-	-	4.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域性、アメニティに充実した取り組みを行っている。	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		緑地の確保、建物配置により敷地内環境に配慮した計画	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	4.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.5
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.73	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		ハイサイドライトを設置。	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.42	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.9
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型機器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.60	-	-	4.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		デッキ(レインガーデンデッキ)岩綿吸音板(天井材)タイルカーペット(床材)	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		持続可能な森林から算出された木材の使用比率 92.62%	5.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		LGS下地、可動間仕切の採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.20	-	-	4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用		ガラス用シーリング、サッシ用シーリング、防水工事のプライマー、建具塗装(金属製)	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0、GWP=1あるいは1未満の断熱材を採用	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.8
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率62%	4.5	0.33	-	-	4.5
2 地域環境への配慮			3.7	0.33	-	-	3.7
2.1 大気汚染防止		燃焼機器を使用していない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		雨水浸透装置であるレインガーデンを設置し、地域への雨水流出抑制に配慮	4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		施設利用者の駐車場、自転車置場を確保	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		ごみの分別回収容器・ボックスの設置位置などの計画を立てている	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	0.50	-	-	
2 振動			3.0	0.50	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			4.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		広告物照明を行っていない。	5.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	